



TITLE:

編集後記 (泌尿器科紀要 第49巻第  
10号)

AUTHOR(S):

---

CITATION:

編集後記 (泌尿器科紀要 第49巻第10号). 泌尿器科紀要 2003, 49(10): 638-638

ISSUE DATE:

2003-10

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/115050>

RIGHT:

4. 論文の訂正：査読審査の結果，原稿の訂正を求められた場合は，40日以内に，訂正された原稿に訂正点を明示した手紙をつけて，前記泌尿器科紀要刊行会宛て送付すること，なお，Editor の責任において一部字句の訂正をすることがある。
5. 校正：校正は著者による責任校正とする。著者複数の場合は校正責任者を投稿時指定する。
6. 掲載：論文の掲載は採用順を原則とする。迅速掲載を希望するときは投稿時にその旨申し出ること。
  - (1) 掲載料は1頁につき和文は5,500円，英文は6,500円，超過頁は1頁につき7,000円，写真の製版代，凸版，トレース代，別冊，送料などは別に実費を申し受ける。
  - (2) 迅速掲載には迅速掲載料を要する。5頁以内は30,000円，6頁以上は1頁毎に10,000円を加算した額を申し受ける。
  - (3) 薬剤の効果，測定試薬の成績，治療機器の使用などに関する治験論文および学会抄録については，掲載料を別途に申し受ける。
7. 別冊：実費負担とし，著者校正時に部数を指定する。

#### Information for Authors Submitting Papers in English

1. Manuscripts, tables and figures must be submitted in three copies. Manuscripts should be typed double-spaced with wide margins on 8.5 by 11 inch paper. The text of all regular manuscripts should not exceed 12 typewritten pages, and that of a case report 6 pages. The abstract should not exceed 250 words and should contain no abbreviations.
2. The first page should contain the title, full names and affiliations of the authors, key words (no more than 5 words), and a running title consisting of the first author and two words.  
e.g.: Yamada, et al.: Prostatic cancer · PSAP
3. The list of references should include only those publications which are cited in the text. References should not exceed 30 readily available citations. Reference should be in the form of superscript numerals and should not be arranged alphabetically.
4. The title, the names and affiliations of the authors, the director's name, and an abstract should be provided in Japanese.
5. For further details, refer to a recent journal.

#### 編 集 後 記

現在の医療の中での代替医療の役割は急速に拡大してきている。アメリカでは alternative medicine, ヨーロッパでは complementary medicine と呼ばれることが多いと聞いている。これまでの西洋型医療から見放された患者や，薬害や治療合併症に過度の不安をいだく患者は「わらもすがる思い」で代替医療に期待をかけるのである。

これまでにエビデンスに乏しかった代替医療にも大きな変化が見られつつある。1992年に米国議会は米国国立衛生研究所に OAM（代替医療事務局）を設立し，その検証と有効利用に資金を投入している。我が国でも，1997年に日本補完代替医療学会が設立され，金沢大学大学院では補完代替医療講座が設置されエビデンスを模索する研究も開始されてきている。

泌尿器科の外来癌診療をしていると代替医療の是非に関して患者さんからよく質問を受ける。一般に高価なものが多いため，言葉を選びながらその場をしのいでいるが，常々なんとなかならないかと思ってきた。京都大学では，近々，前立腺癌に対する代替医療の有効性を検証する臨床試験を開始する。元気なK助教授が中心となって試験プロトコルを作成してきたが，使用する健康食品の精度管理や企業との合意文書の作成等，さまざまな問題が噴出し，倫理委員会提出までに6カ月以上を要した。たぶん泌尿器科領域では初めての試みになると思うが，どんな結果が出るか楽しみである。

(小川 修)

---

泌尿器科紀要 第49巻 第10号 2003年10月25日 印刷 2003年10月31日 発行  
 発行 小川 修 顧問 吉田 修 発行所 泌尿器科紀要刊行会  
 〒606-8392 京都市左京区聖護院山王町18 メタボ岡崎301号 電話 (075) 752-0100  
 FAX (075) 752-0190

[http://web.kyoto-inet.or.jp/people/acta\\_uro/index.html](http://web.kyoto-inet.or.jp/people/acta_uro/index.html)  
 印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入

---